

オーバーツーリズムについて



大田 貢 議員

Q 持続可能な観光地であるために外国人観光客バスツアーを「完全予約制」にしては？

A 外国人に限ったものとするのは、差別的であると受け取られる可能性もあるため、困難であると考えております。村営駐車場管理者やツアーバスを受け入れている観光業者と協議を積み重ねる必要もでてまいりますので、これらのことも踏まえて、ツアーバスの予約制の導入を研究してまいります。
(吉實観光振興課長)

Q 集落内の和式トイレを全て洋式トイレに変えるべきでは？

A 一部に和式便器を残してほしいという声もあるために、既存の修繕等を随時進めながら慎重に判断してまいります。
(吉實観光振興課長)

Q 集落内での食べ歩きを禁止しては？

A 行政として「禁止する」という制限を課すには条例で禁止する必要があります。現在のところ、行政として集落内での食べ歩きを条例等で禁止することは考えていませんが、今後は事業団体と課題を共有し、事業者の皆さんと一緒に考えて、慎重に研究してまいりたいと思います。
(吉實観光振興課長)

Q 障害者にやさしい案内板や情報提供等一層の対策は？

A 障害等の有無にかかわらず、全ての人々が安心して訪れ、楽しめるよう観光業者と一緒に受け入れ環境や体制の整備強化に取り組み、障害者にやさしいホームページ作成などの多様な情報提供を進めていきます。
(吉實観光振興課長)

Q インバウンド人気観光地ランキング1位の白川郷、横断歩道の白線ラインが消えています。事故があっては大変です。雪の消えた春に行くべきでは？

A 横断歩道は公安委員会が設置・管理していますが申請件数が多く予算が厳しいとも言われており、県内の要望が多く全てに対応できない現状であり、危険な箇所や通学路などの優先順位をつけて順次対応しているそうですが、村として今後も引き続き高山警察署及び高山土木事務所に協議をお願いしながら歩行者の安全安心を維持していきたいと考えております。
(鈴木建設課長)

人手不足に村職員の副業・兼業で 対応できないか？



坂本 正代 議員

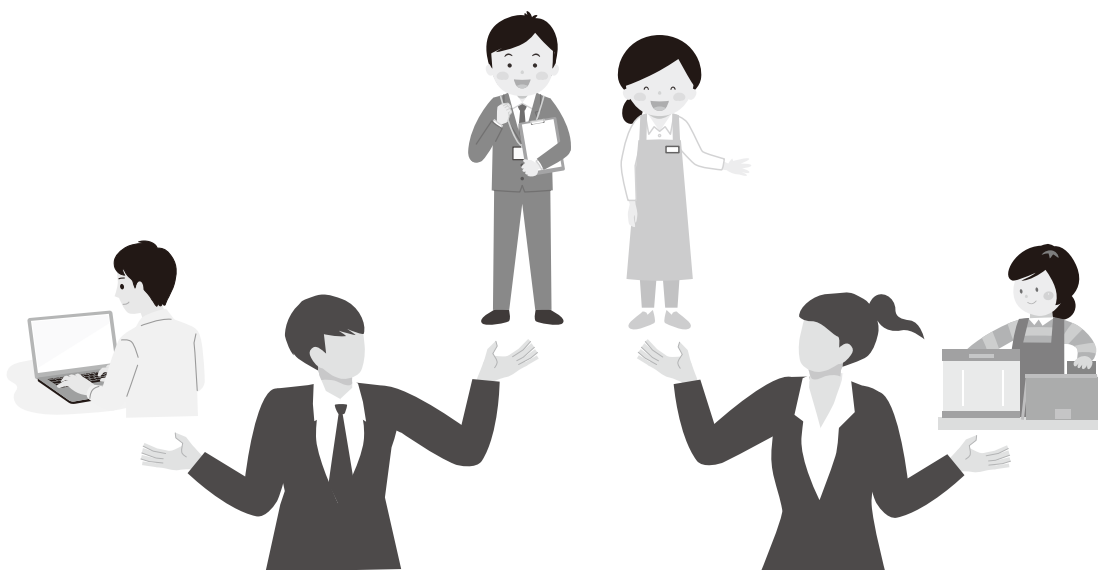
Q 人手不足の問題は、業種・地域問わず社会問題化しております。地方公務員の副業は、法律で制限されており、任命権者の承認(営利企業等従事許可申請承認)があれば行うことが可能と認識しているところですが、村でも人手不足解消対策のため休日内で行政の関わる施設などに限って副業・兼業について解禁していく、そんな取り組みも必要になってきているのではないかと考えますが村の見解をお聞かせください。

A 令和6年度の職員からの副業申請は、区や地域の役員、神社関係、消防団、山岳救助隊、学校関係、地域スポーツ指導関係、その他公務による講師など41件の申請がなされ村長が許可をしております。

(成原総務課長)

A 現状の少ない職員数で多岐に渡る業務をこなしている現状では、本来業務に支障が出るような、多くの時間を割いて副業に従じる事は困難ではないかと考えています。人手不足の問題については職員の副業という形ではなく他の手立ての解決策を検討してまいりたいと思います。

(成原村長)



白川郷学園の現在、 そしてこれからの在り方とは



平田 律代 議員

Q 少子化が加速する現在、義務教育学校のパイオニアとして白川郷学園が果たす役割は非常に大きい。今後更に多様化する社会に対応した不登校児・障がい児への支援が必要と考えます。支援センター等との連携の中、卒業する「ふきのとう教室」の子どもたちが将来村内で就業できるようにご尽力頂きたい。

A 学園との話し合いの中で、一人ひとりの尊厳を理解し「ひとりだち」に向けて多様な学びを実現する環境作りを進めております。

(田口教育委員会事務局長)

A 支援が必要な子供たちが将来村内で就業できることは一番望ましいことと考えています。今後課題として取り組んでまいります。

(宮丸教育長)

Q 教職員の働き方改革により子供たちとの向き合い方が大きく変わったと感じます。子供たちの人間力プラス学力の向上こそが今後の白川村にとって必要と考えます。学力の増強に励んで頂きたい。

A 今年度から教育研究所と学園の連携により学習支援を進めています。学校教育の更なる充実に向けて取り組んでまいります。

(田口教育委員会事務局長)

A 学力向上が村の未来を担う子供たちの選択肢の幅を広げるものと考えます。ご家族の理解と教育意識を深める努力とともに子供たちの学力向上を目指し、更に励んで参りたいと思います。

(宮丸教育長)

白水滝の名勝指定を利用し 観光の分散化を!!



宮部 俊典 議員

Q 観光客のオーバーツーリズムは住民生活の質を低下させ、サービス対応が追い付かず客の不満につながりマナーの良い客の来村を阻害してしまいます。今後は観光客の「責任ある観光」への移行が望まれます。行政提案の観光の分散化、体験型観光が今後の重要課題となります。御母衣ダムツアーやeバイクのツーリングはどの様に活用しているかお聞かせください?

A ご指摘のとおりオーバーツーリズムは地域住民と観光客双方の不満につながり、マナーの良い客の来村機会を阻害するという悪循環を生み出しています。村としては観光の分散化及び体験型観光の推進を通じ、観光客の滞在時間を延ばし、質の高い観光地を作ることを目指しています。御母衣ダムツアーについては濃飛バスが「インフラ見学ツアー」を2年前から実施し、eバイクツアーはアクティビティセンターo8とトヨタ自然学校にeバイクを貸出し商品化する仕組みができております。白水滝周辺の自然環境を楽しみながら、遠山家やダムサイドパーク見学等、南部地域の魅力を体験する商品化により自然資源を活用した観光の分散化を推進して行きたいと思っております。

(吉實観光振興課長)

村も学校給食の無償化を!!

Q 学校給食の無償化が全国で少子化対策子育て支援で急増しています。2023年9月全国の自治体1794の内、547自治体で31.4%が無償化を実施しています。今後益々無償化が進むなか、行政はどの様に考えていますか?

A 現時点における岐阜県内の状況として、無償化を実施している団体は46団体中6団体で全体の14%となっております。飛騨地域では無償化は実施していない為、無償化につきましては今後実施する岐阜県内の動向に注視し検討していきたいと思っております。

(田口教育委員会事務局長)

過去の一般質問の事業の 進捗状況について



森崎 敏克 議員

Q 今年3月の定例議会において質問した学童保育について、その時の答弁では、毎日の放課後に対応できる学童保育の在り方について真剣に対応しますと答弁いただいたがその進捗は？

A 現在、学童保育を受託頂けそうな事業者が村内にあることから事業者と打合せを行いました。支援員の人材不足の懸念の声があるため、現在地域おこし協力隊での支援員の募集について準備を進めております。

(古田村民課長)

A 子供を預かることは、大変なことであり、制度設計から関係者でしっかりと協議して事業化したいと考えます。準備に時間がかかることについて、ご理解のほどよろしく申し上げます。

(宮丸教育長)

A 学童保育は、親の金銭的負担より、働く親の環境づくりが優先と考えます。村の産業構造は、75%以上が第3次産業に就労している現状で、その大半が母親であり、土日、祝日は確実に就労しなければならない宿命にあると思います。民間組織に委託し、地域おこし協力隊を活用する方法にて対応できると考えています。教育委員会と村民課がしっかりと協力してどれだけでも早く実施にこぎ着けるよう努力を傾注させます。

(成原村長)



これが私の生きる道 ~ どうしてあなたは、白川村に? ~

ご縁があって白川村に来てくれたあなたに本音のインタビューをさせて下さい。みなさん、こんにちは今回は6人目となり初の男性インタビューになりました。さて、どんな答えが返って来るのか…人生色々、考え方も色々です。ご縁があって白川村に住んで7年の感想と想いを語って頂きました。これが私の生きる道この記事を読んで何かしら感じ取っていただいたら幸いです。

Q 村に住むことになって辛いと思ったこと、そんな時とった行動やエピソードは?

A 白川村に定住しようと思ったものの、村には不動産もなく物件の選択肢もなかった。村営住宅か家を買うか建てるかの何度も家族と話し合いを重ね周りの方々にも相談しながらでした。1日も早く落ち着いた生活がしたい思いとは裏腹に、心と体も休まらない2年間だったと思います。今の家に落ち着いたのは、本当に周りの方々のお陰です。

Q あなたの支えとなったものは、何ですか?

A 家族・地域の皆さまです。

Q 村や地域にあるといいな~と思うものは何かありますか?

A スーパーマーケット・ドラッグストア・ワークマン・洗車機(冬の塩カルが強烈で辛い)

Q あなたは、今幸せですか?

A 幸せです!

今回のインタビューいかがでしたか、移住された方の想いに少し触れたようなそんなお話でした。地域のみんなが支えになったなんて嬉しいですね。欲しいものは、ネット購入できる時代になって、田舎暮らしは確実に変わってきたけれど、人が支え合えることの大切さを改めて考えてみたいと思いました。

坂本 正代

議会傍聴案内

白川村議会ホームページは
こちらからご覧いただけます。

- 議会定例会(3月・6月・9月・12月)や、臨時議会は傍聴することができます。
- 定例議会の開会時間は、4月から11月が午前9時、12月から3月が午前10時からです。
- 傍聴される方は、開会時間15分前までに総務課までお申し出ください。

- 次回、9月議会定例会の議事日程運営は、9月上旬に白川村議会ホームページで確認することができます。また、一般質問通告の題目についても掲載しています。
- ご確認の上、ぜひ村づくりの議論を傍聴くださいますようお願いいたします。



編集
後記

皆様いつも議会だよりをご愛読頂き、ありがとうございます。見渡す山々は、みどりが濃くなり空もいつの間にか夏色に変わって来ました。未来を豊かに生きられる様に皆さんと一緒に村づくりしていきたいと思っております。皆様のご意見や感想をお寄せください!

坂本 正代

